

名前：本多良政

学位：博士（工学）

研究業績：

学位論文

(1) 本多良政、既存 RC 造建物の袖壁を用いた補強法と耐震性能評価法の提案、新潟大学学位論文、2006 年 7 月

(2) 本多良政、RC 柱部材の主筋に着目した復元力特性に関する研究、新潟大学修士論文、1995 年 2 月

査読論文

(1) 本多良政、加藤大介：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける RC 柱の静加力実験、第 16 回コンクリート工学年次論文報告集 16-2、1994 年、pp.455-460

(1')Kato, D., Kikuchi, M. and Honda, Y., Confinement of Concrete and Main Bars of R/C Members under Varying Axial Load, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol. 16, 1994, pp. 281-288、((1)の英訳)

(2) 加藤大介、菊池政智、本多良政、鈴木広孝：変動軸力を受ける RC 部材の主筋とコンクリートの拘束法、第 16 回コンクリート工学年次論文報告集 16-2、1994 年、pp.461-466

(2')Honda, Y. and Kato, D., Static Loading Tests of R/C Columns with Buckling main Bars under Varying Axial Load, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol. 16, 1994, pp. 357-364、((2)の英訳)

(3) 加藤大介、鈴木広孝、本多良政：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける高強度 RC 柱の静加力実験、第 17 回コンクリート工学年次論文報告集 17-2、1995 年、pp.351-356

(4) Kato, D., Kanaya, J., Wakatsuki, K. and Honda, Y., Design method to Prevent Buckling of Main Bars in RC Members, Pacific Conference on Earthquake Engineering, Volume 3, 1995, pp.117-126

- (5) KATO, D., HONDA, Y., SUZUKI, H. AND SHIBA, J., Confinement of Concrete of R/C Members under Varying Axial Load, the 11-th World Conference on Earthquake Engineering, 1996
- (6) 本多良政、加藤大介、本間敦史、南部昌隆：PCa 袖壁で簡略補強された既存 RC 柱に関する実験、第 26 回コンクリート工学年次論文報告集 26-2、2004 年、pp.253-258
- (7) 本多良政、加藤大介、南部昌隆、本間敦史：増設袖壁で補強された RC 造柱のせん断耐力評価法、第 27 回コンクリート工学年次論文報告集 27-2、2005 年、pp.199-204
- (8) 加藤大介、本多良政、田中寛徳：接着型鋼板を用いた RC 造増設袖壁付き柱の静加力実験、第 27 回コンクリート工学年次論文報告集 27-2、2005 年、pp.1039-1044
- (9) 本多良政、加藤大介：2004 年新潟県中越地震における耐震補強した RC 造建物の補強の効果、構造工学論文集 Vol.52B、2006 年 3 月、pp.313-319
- (10) 李柱振、本多良政、加藤大介、中村友紀子：2004 年新潟県中越地震で被災した十日町市の RC 造建物の被害、構造工学論文集 Vol.52B、2006 年 3 月、pp.321-326
- (11) Yoshimasa Honda, Daisuke Kato and Yukiko Nakamura, Effect of Seismic Retrofitting on Reinforced Concrete Buildings Suffered During The 2004 Mid Niigata Prefecture Earthquake, the 8th National Conference on Earthquake Engineering, 2006
- (12) 中村健一郎、長橋鉄雄、本多良政、加藤大介：新潟県中越地震における RC 造建物の被害と耐震性能の関係、第 29 回コンクリート工学年次論文報告集 29-2、2007 年 7 月、pp.1267-1272
- (13) 長橋鉄雄、加藤大介、星野正人、本多良政、中越地震において被災した RC 造建築物の偏心の影響の検討、第 29 回コンクリート工学年次論文報告集 29-2、2007 年 7 月、pp.1273-1278
- (14) 阿部博之、李柱振、本多良政、加藤大介、軸圧縮力を受ける RC 造柱の最大耐力以降

の拘束効果の評価、第 29 回コンクリート工学年次論文報告集 29-2、2007 年 7 月、
pp.103-108

学術論文

- (101) 本多良政、加藤大介：1992 年トルコ地震における RC 造建物の被害解析、日本建築学会北陸支部研究報告集、第 36 号、1993 年 7 月、pp.121-124
- (102) 加藤大介、本多良政：1992 年トルコ地震における RC 造建物の被害の解析（その 1．建物の耐震診断）、日本建築学会大会学術講演梗概集、C 構造 II、1993 年 9 月、pp.483-484
- (103) 本多良政、加藤大介：1992 年トルコ地震における RC 造建物の被害の解析（その 2．建物の地震応答解析）、日本建築学会大会学術講演梗概集、C 構造 II、1993 年 9 月、pp.485-486
- (104) 加藤大介、本多良政、鈴木広孝：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける RC 柱の静加力実験（その 1：実験の概要）、日本建築学会大会学術講演梗概集、C 構造 II、1994 年 9 月、pp.405-406
- (105) 本多良政、加藤大介、鈴木広孝：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける RC 柱の静加力実験（その 2：実験結果）、日本建築学会大会学術講演梗概集、C 構造 II、1994 年 9 月、pp.407-408
- (106) 鈴木広孝、加藤大介、本多良政：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける RC 柱の静加力実験（その 3：主筋の座屈防止配筋法）、日本建築学会大会学術講演梗概集、C 構造 II、1994 年 9 月、pp.409-410
- (107) 鈴木広孝、加藤大介、本多良政：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける高強度 RC 柱の静加力実験（その 1：実験の概要）、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造 IV、1995 年 8 月、pp.281-282
- (108) 本多良政、加藤大介、鈴木広孝：主筋の座屈挙動に着目した変動軸力を受ける高強度 RC 柱の静加力実験（その 2：実験結果とその考察）、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造 IV、1995 年 8 月、pp.283-284

- (109) 本多良政、加藤大介：RC 造袖壁付き柱の強度と変形性能に関する考察、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造Ⅳ、pp.379-380、2004 年 8 月
- (110) 田中寛徳、本間敦、南部昌隆、本多良政、加藤大介：PCa 袖壁で簡易補強された既存 RC 柱の静加力実験（その 1 実験概要）、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造Ⅳ、pp.553-554、2004 年 8 月
- (111) 本間敦、田中寛徳、加藤大介、南部昌隆、本多良政：PCa 袖壁で簡易補強された既存 RC 柱の静加力実験（その 2 実験結果）、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造Ⅳ、pp.555-556、2004 年 8 月
- (112) 南部昌隆、田中寛徳、加藤大介、本間敦、本多良政、中村友紀子：PCa 袖壁で簡易補強された既存 RC 柱の静加力実験（その 3 実験値と計算値の比較）、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造Ⅳ、pp.557-558、2004 年 8 月
- (113) 本多良政、加藤大介、中村友紀子：2004 年新潟県中越地震における耐震補強した RC 造建築物の被害、日本建築学会北陸支部大会研究報告集 第 48 号、2005 年 7 月、pp.17-20
- (114) 本多良政、加藤大介：2004 年新潟県中越地震における耐震補強した RC 造建築物の耐震性能、日本建築学会大会学術講演梗概集 C-2 構造Ⅳ、2005 年 9 月、pp.721-722

専門分野：建築構造、鉄筋コンクリート構造